
JAGAT 第17期

プリンティングコーディネーター 養成講座

2014年10月16日(木)～11月14日(金)

全6回(40時間)

こんなことでお困りではないですか？

- 熾烈な価格競争に苦しんでいる
- 営業、製造のコミュニケーションが悪い
- 印刷品質の判断基準があいまい
- ミスロスが多い、融通がきく納期対応ができない
- トータルで仕事を組み立てる人材がいないため、後手後手の対応になっている

開講のご挨拶

DTPによる印刷物制作ワークフローは成熟期を迎えました。印刷、後工程においても生産設備による差別化は難しくなりつつあり、印刷業界は熾烈な価格競争に苦しんでいます。

こうしたなかで、競合他社との差別化を図り『お客様に選ばれる会社』となるためには、何が必要でしょうか？

急速に進化するデジタルメディアへの対応や、それらを駆使したソリューション提案も非常に重要ではありますが、まず、きちんとした印刷物の“もの作り”ができることがお客様の信頼を獲得する何よりの近道と考えます。

そこに必要なのは、印刷の総合的な横断知識と高いコミュニケーション能力を持つ人材が自社にいます。JAGATではそういった人材を「プリンティングコーディネータ」と捉え、1996年から、「プリンティングコーディネータ養成講座」を実施しています。

これからは、人材が最大の差別化要素となります。

JAGATが考える「プリンティングコーディネータ」とは？

- お客様、営業、印刷現場のすべての人とコミュニケーションがとれ、良きアドバイザーになれる人
- 自己の専門分野以外に印刷の横断的な総合知識を持ち、印刷物の作成に向け、最適なワークフローをコーディネートできる人
- 新しい技術や新しい媒体を手掛ける際の社内ナビゲーター（水先案内人）になれる人

2014年 新たなポイント！

- 第一線で活躍するカメラマンとプリンティングディレクターにより、デジカメ撮影、レタッチの実演をして、その場でプリンタ出力
- 『デザインのひきだし』編集長 津田淳子氏が登壇
- 『月刊ブレーン』での人気企画「Book Jacket: Senses」を題材に、素材（紙）、印刷・加工、デザインによる付加価値表現について解説
- デジタル印刷工場と箔押工場見学（希望者のみ）

対象

プリンティングコーディネータを目指す営業系、技術系、企画デザイン系スタッフの方
中堅幹部候補の方、工場長候補の方、後継者の方

助成金

講座開始日の1カ月前までに申請する等の一定の要件を満たした場合に、「キャリア形成促進助成金」の対象になります。詳しくは各都道府県労働局へお問い合わせください。

詳細はWebをご覧ください

www.jagat.jp/seminar

プリンティングコーディネータ

検索

| 回 | 日時 | 時間 | 講師 (敬称略) | テーマ | 内容 |
|---------|--------------|-------------|--|--------------------------------------|--|
| 1 日目 | 10/16 (木) | 9:30-10:30 | 田中 浩 (株)野毛印刷社 工務課課長/ プリンティングコーディネーター | 現役プリンティング コーディネータの 仕事の現場 | 最前線で活躍するプリンティングコーディネータ修了生の日々の仕事、今直面している課題、そして解決するための考え方を伺う |
| | | 10:30-17:30 | 吉川 昭二 (株)サンエー印刷 取締役 | プリンティング コーディネータに 求められる印刷知識 | ・プリンティングコーディネータに求められること ・印刷物の品質とは何か ・CMSと標準印刷 ・品質管理のための必須知識と印刷トラブル |
| 2 日目 | 10/17 (金) | 9:30-12:30 | 宮本 泰夫 (株)バリューマシオン インターナショナル 取締役副社長 | 顧客ニーズを満たす 印刷物の作り方 | 印刷会社としての“モノづくり”を軸に、デジタルメディアを含めたマーケティングの視点を考える。モノづくりについては、“効果的”な印刷物を“効率的”に製作するためのワークフローの組み立て方、印刷機、材料の選択の仕方などを解説する。 |
| | | 13:30-17:30 | | チームワークと コーディネーション | 良い印刷物を作るには、顧客と営業と製造現場のチームワークが欠かせない。プリンティングコーディネータには、それぞれを有機的に結び付ける役割が課せられる。予算(コスト)と品質、外注化と内製化など、社内から求められる相反する要求を整理し、判断を下すべきかワークショップ形式で考える。 |
| 3 日目 | 10/28 (火) | 9:30-12:00 | 島村 到 (株)T&KTOKA 技術本 部 研究第一グループ | 抑えておきたい 印刷インキの バリエーション | ・蛍光インキ、金銀インキ、OPニス等の基礎知識 ・高色域インキ、UVインキ、高濃度インキ ・特殊インキ(示温インキ、フロッキー、その他) ・グラビア、フレキソ印刷の概要 |
| | | 13:00-15:30 | 山田 秀生 奥村印刷(株) 取締役 プリプレスセンター長 | 画像演出と修整のディレ クション(基礎編) | ・印刷物を評価する環境、ツール・風景、人物、料理などを題材に画像演出、修正のポイント/セオリーを学ぶ ・RGBレタッチとは ・カラーマネジメントの基礎と実践 ・ソフトブルーフ/リモートブルーフの可能性 |
| | | 15:30-16:30 | | プリプレス事故ゼロのマ ネジメント | ・原稿内容を含めた「間違いのない」印刷物を作るための管理体制とは ・徹底した事故対応による再発防止策 ・入稿データチェックツールの紹介 |
| | | 16:30-17:30 | | PODビジネスの現在 | ・各メーカーの機器の特長・特性、運用のポイント ・後加工について、Web2Printの実例 |
| 4 日目 | 10/29 (水) | 9:30-12:30 | 堀 知文 丸栄(有) 代表取締役社長 | 特殊印刷/加工の 企画・ディレクション | 技術的な特徴や企画への具体的応用、制作工程、注意点を解説。コーディネータとして提案・意見が言える知識を身につける。 1.箔押し 2.表面加工(ニス、PP、プレスコート、UV) 3.抜き、スジ入れ加工 4.シルクスクリーン |
| | | 13:30-17:30 | 北野 誠之 (株)DNP書籍ファクト リー 生産管理本部 品質管理課 | 製本加工の ディレクション | ・製本工程からみた造本企画のポイント ・製造トラブルとその解決 ・工程設計 ・装丁と加工・材料の選択 |
| 5 日目 | 11/13 (木) | 10:00-12:00 | 黒須 信宏 (株)クロスデザイン 代表取締役 | クラウド時代のワークフ ローを支える情報管理と セキュリティ | クラウド時代の情報管理やセキュリティ管理のあり方とその実用法について解説。マルチユースに対応したコンテンツ管理手法とそれらを駆使した最新ワークフロー事例を紹介。 |
| | | 13:00-17:30 | 小島 勉 (株)トッピンググラフィック コミュニケーションズ チーフディレクター 茂手木 秀行 カメラマン | 高い品質要求にこたえる 画像ディレクション術 | デジタル技術の普及とともに、撮影・レタッチのワークフローも変貌しつつある。撮影する際のライティングやレンズ補正、クリエイティブを活かすレタッチ技術、カラーマネジメントなど、カメラマンとプリンティングディレクターの実演を交えながら解説する。 |
| 最終日 | 11/14 (金) | 9:30-12:30 | 青柳 晃一 (株)竹尾+クリエイター 折衝中 | 印刷用紙知識とディレク ションのポイント | ・押さえておきたい紙の基礎と環境対応 ・素材を活かした印刷加工、デザインによる付加価値表現 ・クリエイター(折衝中)から見た紙と印刷と加工 |
| | | 13:30-16:00 | 津田 淳子 (株)グラフィック社「デザ インのひきだし」編集長 | プリンティングコーデ ィネータに求められる役割 と能力 | 「そのアイデアをどうやったらうまく紙、印刷物に落とし込めるか」それが『デザインのひきだし』のコンセプト。印刷業界なら知らない人はいない本誌の編集長が、プリンティングコーディネータに求められる役割、知識をお話する。 |
| | | 16:00- | | | 修了式 |

* 諸般の都合により、日程および担当講師が変更される場合があります。あらかじめご了承ください。

今まで受講いただいた方の声

印刷に関するトータル知識がバランスよく組まれていた。仕事を離れ、普段と違う環境で学ぶため、集中することができた。(営業 女性)

現役でまだバリバリに活躍されている講師の方々が、現場視点に基づいた事例をもとに説明をしていただけたので、わかりやすかった。(制作 男性)

自分が普段手掛けている分野以外の印刷知識を学ぶことができた。また、自分が曖昧に持っていた知識を、確実な知識にすることができた。(工務 男性)

講座の時間だけでなく、インターバル期間、講座終了後も、きめ細かく丁寧に教えていただけて理解が深まった。また、同じような悩みを抱えている仲間と出会え、共に学ぶことで、非常に刺激になった。講師の方、そして仲間との縁を今後も大事にしたい。(営業 男性)

講座へ派遣した上司の方の声

10年前に自分が受講し、非常にためになった。それ以来、部下2人を派遣した。研修期間が長く難易度が高いため、当初は2人とも参加を渋っていたが、講座を終えたときのモチベーションの高さ、問題意識の高さはかなりの収穫だった。今でも社の中枢として頑張っているし、講座で得た知識を新入社員研修の講師として役立てている。

製本部門のエキスパートを派遣した。以前はお客様との接点がなかったが、今では営業担当者に同行し、提案を行っている。お客様の望む印刷物を作るのは当然だが、紙や加工などを提案することで、より効果的な印刷物を納品できるようになった。お客様の信頼も厚く、指名も受けている。

印刷全般における知識を身につけることができたので、社内での後工程のトラブルや、解決においても、内容の把握がしやすくなった。印刷工程の内容も理解が深まったので、トラブル時や、緊急時の対応力が高まった。

第17期 プリンティングコーディネータ養成講座 募集要項

| | |
|--------------|---|
| 対象 | 中堅幹部候補の方、工場長候補の方、後継者の方 |
| 募集定員 | 20名 |
| 開催期間 | 2014年10月16日（木）～11月14日（金）の全6回 *詳細は前ページの日程表をご覧ください。 |
| 会場 | 公益社団法人日本印刷技術協会（JAGAT）セミナールーム 〒166-8539 東京都杉並区和田1-29-11（東京メトロ丸の内線 中野富士見町駅下車徒歩5分） |
| 参加費（消費税込み） | JAGAT会員：140,400円／一般：194,400円 *教材費を含んでおります（交通費除く） |
| お申し込み手続き | (1) 受講申込書に必要事項をご記入の上、FAXにてご送付ください。 FAX 03-3384-3168 (2) 請求書をお送りしますので、開講10日前までに受講料を下記口座にお振り込みください。 みずほ銀行 中野支店 普通 202430 (3) 開講10日前ごろに開催案内と会場地図をお送りします。 *なお、お申し込み後のキャンセルは原則としてお受けできませんので、万一参加できない場合は、代わりの方のご参加をご検討ください。 |
| 宿泊施設のご相談 | 遠方からのご参加で宿泊に関する情報をご希望の方は、「プリンティングコーディネータ養成講座」担当までお気軽にお問い合わせください。 |
| お問い合わせ・お申し込み | 公益社団法人 日本印刷技術協会「プリンティングコーディネータ養成講座」担当：小須田（こすだ） 〒166-8539 東京都杉並区和田1-29-11 TEL 03-3384-3411/FAX 03-3384-3168 Eメール seminar@jagat.or.jp/URL http://www.jagat.jp/seminar/ |

受講申込書

公益社団法人日本印刷技術協会主催の「第17期 プリンティングコーディネータ養成講座」に下記の者を参加させたく申し込みます。

| | | |
|---------------|--------|---|
| 会社名 (フリガナ) | | <input type="checkbox"/> JAGAT会員 <input type="checkbox"/> 一般 |
| 所在地 〒 | | |
| 連絡担当者名 (フリガナ) | 所属・役職： | |
| TEL： | FAX： | |
| Eメール： | @ | |
| 参加者名 (フリガナ) | 所属・役職： | |
| TEL： | FAX： | |
| Eメール： | @ | |
| 参加者名 (フリガナ) | 所属・役職： | |
| TEL： | FAX： | |
| Eメール： | @ | |

*ご記入いただきました個人情報は厳重に取り扱い、JAGAT事業のご案内以外の目的には使用いたしません。
JAGATからの事業案内を希望しない方は、こちらにチェック (✓) をお願いします。□

FAX 03-3384-3168